

4月17日 南武線 武蔵溝ノ口駅が 「エコステ」モデル駅としてリニューアルします！

JR東日本は、水素エネルギーの利活用を推進しており、省エネルギー・再生可能エネルギーなど様々な環境保全技術(エコメニュー)を駅に導入する取組み「エコステ」を実施しています。

横浜支社では2015年1月に川崎市と締結した包括連携協定に基づき、4月17日武蔵溝ノ口駅がCO₂フリー水素エネルギーを活用した「エコステ」モデル駅としてリニューアルします。

※CO₂フリー水素エネルギーとは、水素製造時にCO₂を排出しないクリーンエネルギーです。

(実施概要)

- (1) 創エネ：自立型水素エネルギー供給システム導入、太陽光パネル設置
- (2) 省エネ：照明のLED化、高効率空調機器導入
- (3) エコ実感：デジタルサイネージ設置、エコ待合スペース設置
- (4) 環境調和：駅舎壁面への自然素材活用および緑化設置

(コンコース)
デジタルサイネージ設置



(自由通路)
自然素材活用、壁面緑化



(駅舎屋上)
太陽光パネル設置



(ホーム、コンコース)
照明のLED化



(コンコース)
高効率空調機器導入

(コンコース)
自然素材活用、壁面緑化



(北口駅前広場側)
自立型水素エネルギー供給システム導入



(ホーム)
エコ待合スペース設置

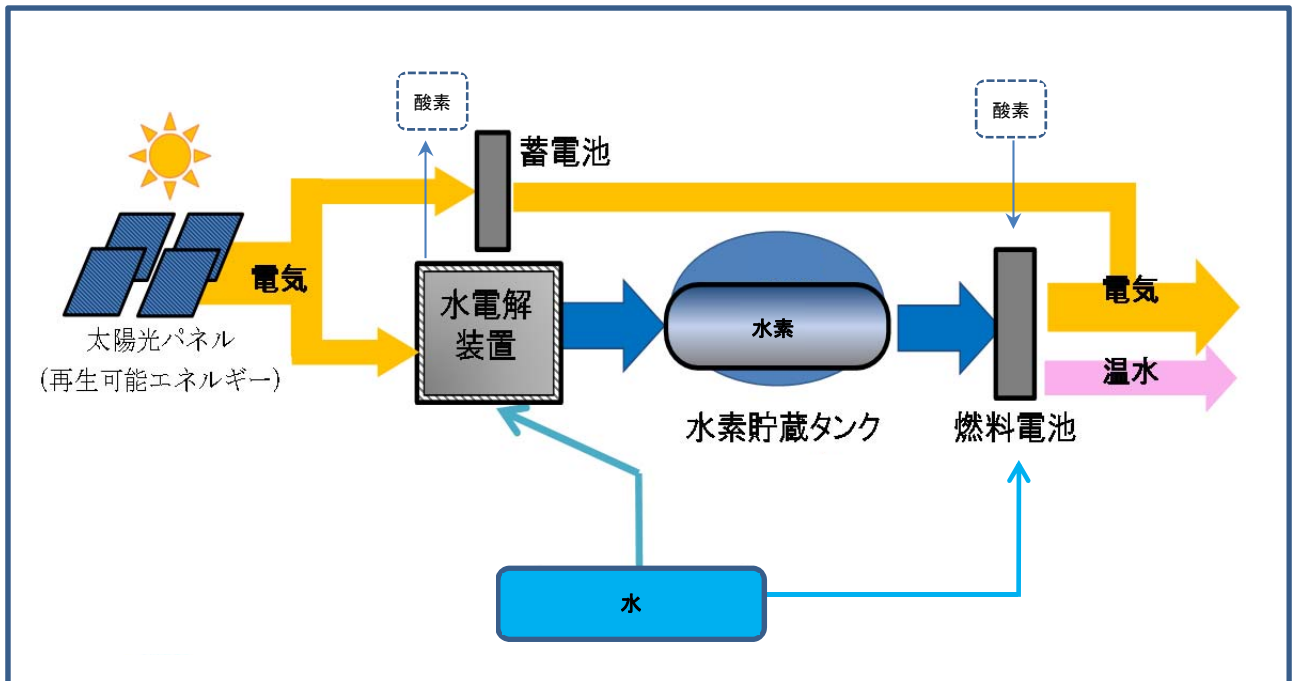


※全ての画像はイメージです。

(エコメニュー詳細)

(1) 創 エ ネ：自立型水素エネルギー供給システム導入、太陽光パネル設置

- ・自立型水素エネルギー供給システムは水と太陽光のみで稼働できるため、災害時に貯蔵タンクに蓄えた水素を利用し、燃料電池で発電することで一時滞在場所が必要となる設備への電源供給が可能となります。



(2) 省 エ ネ：照明のLED化、高効率空調機器導入

- ・ホームおよびコンコースの照明設備のLED化や駅事務室等への高効率空調設備を導入することで消費エネルギーの削減を図ります。

(3) エコ実感：デジタルサイネージ設置、エコ待合スペース設置

- ・デジタルサイネージをコンコースに設置し、弊社のエコステの取組を紹介することでお客さまにエコを実感していただきます。
- ・エコ待合スペースでは、夏場はミスト、冬場は自立型水素エネルギー供給システムから出る温水を活用したウォームベンチを設置することでお客さまにエコを実感していただきます。

(4) 環境調和：駅舎壁面への自然素材活用および緑化設置

- ・コンコースや自由通路の壁面にて自然素材を活用した仕上げをすることや、緑化を施すことで自然と調和する空間を創出します。